

香美市の世代の違う青年団ですが、多くの共通点があります。まずは、音楽や絵画・映画などの娯楽を地元で楽しむ企画をしているということ。次に、若者の活動への参加が年々増加しているということ。そして、非営利事業が継続して成り立つように、運営や資金調達について仲間と一緒にじっくり考えているということです。また、自分達が小さい頃に経験した、かつての地域の賑わいや楽しさを次の世代にも体験してもらいつながっていききたいという、「恩送り」のような気持ちも活動の大きな動機となっているようです。

Soul No.1
平均年齢30歳
香北町青年団

香美市在住および出身者で構成されている社会教育団体。団員数16名(2017年6月現在)。1967年から活動を続けている。解散のシナリオもあったが、青年団のイメージを飛び越えるイキのいいイベントで、右肩上がりに活躍中。

Kahoku Stardust Theater
巨大スクリーンで野外上映会
「かほく星空劇場」

都市部へ出かけないと楽しめない映画上映会やライブイベントを地元で開催したいと発案したのは2代前の団長の山本くん。グルメ屋台やお楽しみブース、ダンスなどのサンセットステージと、夕方からの、家族全員で楽しめるサマーナイトシアターで、半日ゆっくり楽しめる大型イベントを香北町青年団は主催しています。昨年は約800名が参加し大盛況でした。

「自分たちが楽しめて地域の人たちも楽しめるようなイベントにしよう。」
「今の団員は、ぎりぎり『物部川遊・裕共和国』※を経験してワクワクしていた世代。あのワクワクを、少しでも次の世代に伝えたい。」

※『物部川遊・裕共和国』
1987年(昭和62年)から1998年(平成10年)まで、物部地域で12回開催された。今では考えられない、ぶっただお祭り。大統領とプリンセスを毎回選び、馬に乗って登場させたり、新潟から雪を運んだり、壮大なスケールは当時の子供たちの心に強烈な思い出を残しています。多いときは6,000人も訪れたそうです。

今年は「キャスパー」!

第三回 かほく星空劇場のご案内

日時 2017年9月9日(土) 15:00~20:30
※9日が雨天の場合は翌日10日に延期

場所 アンパンマンミュージアム前広場
(香美市香北町美良布1224-2)

15:00~ グルメ屋台、お楽しみブース、餅まき、ステージイベント
18:00~ 会場キャンドル点灯
18:50~ 野外映画上映会「キャスパー」

●詳細は、かほく星空劇場の特設ページでも順次お伝えいたします。

かほく星空劇場

劇場発案者
おなぼれがきっかけで入団
団長!!!!
意外にも最年少
星空劇場を見て入団

僕ら走り回ってるかもしれませんが、ぜひ来てください。お待ちしております!

香北町青年団定例会
[5月25日(木)午後8時]

定例会は毎週木曜日に週一で開催。8時スタートの予定だが、みな勤労青年なので、今日も集まりは三々五々。メインの議題は、今年から補助金がなくなる「かほく星空劇場」の資金調達で、6月に行う協賛金のお願い回りの段取りやチーム分けについてである。一日で約90か所へお願いするため、誰がどう依頼するかを検討する。「誰かこの人しつちゅう?」「飲食店は、何時ごろいくと邪魔にならんろうか?」。9時過ぎてからも団員がやってくる。設営の話も挟みながらまだ会は続いていた。

●香北町青年団の連絡先 ←フェイスブックはこちらから

wow-xx_jeans@hotmail.co.jp

香北町青年団のそれ以外の活動はこちら

- 青年タイムズ発行
毎月発行『青年タイムズ』ただいま通算243号。活動報告や団員のコラム、新人紹介、M・小松の描く3コマ漫画など。今回は、3コマ漫画も特別に書き下ろしていただきました。
- おなぼれ
昔から続く、大川上美良布神社の秋季大祭。青年団は、練り込みなどの祭りのクライマックス部分も担当しています。
- カホクミライル
アンパンマンミュージアム×香北町青年団×香北ふるさとみらいの3団体による合同イルミネーション企画。
- お祭り出店
- 地域の清掃

Soul No.2
平均年齢71.7歳
梅久保・昔の青年団
うめのくほ つまり青年ワズ団

梅久保・昔の青年団、メンバーの二世達と地元の次世代チームの協力でパワーアップ!

『御在所山のふもと絵画展&マルシェ』を開催
ございしよやま

22世帯のうち8世帯が独居老人(2017年5月現在)の限界集落の梅久保地域で、かつての青年団が、56年ぶりに『梅久保・昔の青年団』として再結成しました。ジャズや絵画のイベントを開催し、地域を盛り上げています。昨年は、しるくま楽団によるジャズコンサートとうまいものマルシェを開催。雨にもかかわらず140名も集まったそうです。それをきっかけに、二世やその友達などの若い女子が梅久保を気に入って来てくれるようになり、今年のイベントへの協力・応援につながりました。

画家の椎名寛さん

今年6月24日と25日に、梅久保・昔の青年団員の二世達や地元の次世代チームとコラボして、『御在所山のふもと絵画展&マルシェ』イベントを開催。香美市の風景を描く画家の椎名寛さんの絵画展を中心に、山の野菜を使ったお惣菜など田舎の美味しいものマルシェを開催しました。また、二世の友人のつながりにより、神様に捧げる古典フラダンスであるカヒコダンスも披露されました。

全人口40数名の梅久保に、2日間で約220名が集まりました
県外からのお客様も!

梅久保公民館が大変身

もしこの先地域が消滅していくとしても、それをできるだけ遅らせたい。そのためにはまず、梅久保のことを知ってもらい、好きになって、関わりをもってもらいたい。住んでいなくても、その人たちは、梅久保開連人口としてカウントします(笑)。その人口を増やしていきたいですね。また、地域の若い人の力をもっと借りていきたいと思っています。

5年前にUターンしてきた黒岩世履(くろいわ せいり)さんは、かつての青年団の最年少メンバーで、梅久保・昔の青年団のリーダー。フェイスブックでの情報発信もマメな、スーパーアクティブシニア。

●梅久保・昔の青年団の連絡先
黒岩さんのフェイスブック
090-3503-8888 kuroiwaseiri@yahoo.co.jp